

何でも読もう会

書物名	『博士の愛した 数式』	開催日	出席者
作者	小川洋子	2024.7.15	5名
<ul style="list-style-type: none">作家小川洋子は『妊娠カレンダー』で芥川賞受賞、本作は読売文学賞受賞。その他の作品で、泉鏡花賞、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞など受賞している。作品の内容は、記憶が80分しか持たない元数学者とその家に通う家政婦とその息子、3人が織りなす様々な出来事を、温かく描いている。多くの数学用語が出て来る。それはそれで面白いが、博士の小さな部屋で3人の愛で満たされている様子が感動。記憶が80分しか持たなくても愛あればという感じです。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none">まずは世界のジャーナリストが注目している小川洋子さんについて意見交換をしました。小川さんの作品は27言語、37作品が出版されています。さらに日本の文壇でも認められていて、芥川賞、読売文学賞、太宰治賞等の選考委員でもあります。次に多くの数学用語が出てきますので、改めて勉強させていただきました。 <p>例：階乗、素数、完全数、フェルマーの最終定理、三角数、アルティンの予想、素因数、オイラーの公式</p> <ul style="list-style-type: none">数学用語がわからなくても大丈夫だと、安心しました。そんな中に阪神タイガースと江夏が登場するのが面白い。			